

平成14年 6月27日

報道機関 各位

広島大学総務部大学情報室長
西田良一広島大学同窓会一本化記念大会の開催について
(第3回広島大学同窓会大会)

このことについて、大会事務局より次のとおり案内が届きましたので、連絡させていただきます。なお、広島大学の同窓会の歴史については、[別紙](#)(同窓会副会長 山根 恒弘 山根木材(株)社長の同窓会を語る文)を参照いただきたいと思います。

* 大会案内文

7月6日(土)に「広島大学同窓会大会」を開催します。多くの同窓生が一堂に会して、「社会の元気・大学の元気・同窓生の元気」を作りたいと各同窓会世話人が奮闘しています。

今まさに、広島大学は法人化に直面しています。このため、卒業生・その他地域の行政・企業など、さまざまな人々の理解・支援が求められています。「21世紀の米100俵だ」と同窓生のみならず地域社会に訴えています。

広島大学の同窓会組織は、戦後の新制大学発足の経緯から、各学部等の同窓会しか存在していなかったのですが、平成7年に各同窓会の連合組織である「広島大学同窓会連合会」が結成されました。

そして、ついに今年、同窓会を一本化する動きとして、この連合会の連合の2文字が取れ「広島大学同窓会」になりました。

研究・教育の面で広島大学の存在は大変大きく、誇れるものがあります。また卒業生には、産業のみならず、医療・教育・芸術文化等々さまざまな分野で、今後の日本の世界の発展に大きな力を発揮することが強く期待されています。そのため、この同窓会は大学のみならず社会の機能として重要な役割を持ちます。

同窓生が一堂に会するこの大会は、産・学・官連携等社会貢献の面からも大きな意味を持っています。同窓生や広島大学関係者の皆さん、7月6日(土)午後6時、広島市のリーがロイヤルホテル広島に是非ともご参集下さい。(参考:参加費一万円)

【お問い合わせ先】

広島大学同窓会大会事務局

事務長 兼 平一 義

TEL:(082)542-7155

(FAX兼用)

別紙

「広島大学同窓会を語る」

広島大学同窓会副会長 山根恒弘

広島大学は、昭和24年に旧制の大学と各種の教育機関10校を母体として、国立の総合大学として設立されました。戦後の教育改革に際しての、いわば外圧により県内の高等教育機関が機械的に統合されたものであります。

それに比してその母体校はそれぞれ内面的必然性を強く持って設立されました。

広島高等師範学校は明治35年に開校されました。その後多くの教育者を出し西日本の教育の中心的存在になりました。

広島高等工業学校は明治42年に開校され、日本の工業の発展に寄与する多くの技術者を養成しました。マツダの創業・発展にもその力がありました。

広島高等学校は明治31年にさかのぼる県民一致の高等学校誘致運動、特に熊平源蔵氏を中心とした財界の熱意の結果大正10年に認可され12年に開校されました。それ以来多くの卒業生を輩出し輝かしい業績を残しました。今の広大付属高等学校の講堂は修復されたものの開設当初からのものです。

広島文理科大学は昭和4年に開校され現在の理学部・文学部の前身で基礎学問の研究が今も残る東千田キャンパスのレンガ作りの校舎でなされ多くの研究者をつくりました。

この歴史ある4校と師範学校、医科大学等6校計10校を母体として、新制広島大学が誕生しました。

しかし、同窓会是一本化されず、卒業後は学部ごとに母体校の同窓会に入り、伝統を維持しながら固有の特色を生かした活動をしてきました。例えば教育学部・文学部・理学部の卒業生は広島高等師範学校・広島文理科大学の「尚士会」へ、また工学部の卒業生は広島高等工業学校の同窓会の「広島工業会」に入ります。

昭和30年代になって、日本の復興のたくましい怒涛の動きは、大学の中にも現れ、多くの運動部が設立されました。多くの部員が狭いキャンパスと少ない施設、また練習・試合・遠征資金等の乏しさの中でダンスパーティーや興行をして資金を稼ぐなどたくましく活動をしていました。

運動部を統一して、資金と施設等の解決を図りたいと体育会設立運動がおこります。度々の設立運動は大学の反対でつぶされました。大きな学生団体を恐れた為です。

だんだんと、旧制の種々の大学等を集め、かつキャンパスの分散という連合大学・新制広島大学は、「統一」が大きな課題となってきました。

体育会の設立はまさにこの統一の為に最も良い役割が期待できました。

それは、この会の設立理念が、運動部が中心となって、自らの部強化・競技力向上を目指すと共に、全学を対象としてスポーツの普及を図ることだったからです。その運動部は各学部にもたがる1年生から4年生までの学生で構成し、かつ政治活動から無縁の団体です。

昭和38年、2代皇至道学長は就任早々、学長が会長の全学体育会設立の決意をされました。この設立は「統一」を目指した政治でした。設立運動8年かかっています。

この会は、全学のスポーツの普及を目的に掲げフェニックス駅伝・キャンプ村等々、全学の参加を募って各種事業を、大学紛争・大学移転等の時代のなかでも活動してきました。体育同窓会は、多くのOBが長年にわたり運動部の学生のみならず一般学生の応援、指導をしてきました。課外での学生教育と大学の活性化に多大の貢献をしています。全学体育会の設立は新制大学では唯一ですし、このように全学スポーツの普及事業をしているのありません。

新制大学の卒業生が増えるに従って「一体化した同窓会」は、東広島市への統合移転が決まった飯島宗一学長の時代から広島大学の課題として認識されるようになり、会合が何度かもたれましたが現実に至りませんでした。

平成5年新制大学卒業生の学長、原田康夫学長が誕生、20数年費やしていた統合移転を一気に完了へと、就任早々から積極的な動きがはじまりました。

組織の統合がないままで、統合移転完了を祝い広島大学を支援する「広島大学同窓会連合大会」が体育会流のやり方で開催されました。体育会の学生・OBが足でチケットを売って歩き1500名の出席者と1000万円の大学寄付の成功を見ました。

その成功が実感して、平成7年10月統一した組織「広島大学同窓会連合会」が発足しました。

また、それから6年、今年、連合の2文字が取れ「広島大学同窓会」になりました

た。中身はまだ連合のままですが広島大学歴史上初めてこの名称が使われました。

大学設立55年、体育会設立40年、多くの方々の力が結集され、ここに「統一」というテーマの一応の完結をみました。しかしまだ真の一本化した同窓会ではありません。もう10年近くかかるかも知れません。

学生・教職員2万人、留学生は63カ国約800人を擁しています。卒業生は14万人です。中四国最大のマンモス組織です。この大学の意味は大変大きいものがあります。研究・教育の面で日本のまた地域の発展に大きな力を発揮することが強く期待されています。

またさまざまな学部を擁すこの総合大学の卒業生は社会の各分野で活躍していますし、今後の活躍も強く望まれています。その同窓会は、お互いの連携を深めて、個々の発展のみならず社会への貢献にも大きく寄与するものと考えます。

同窓会の今後

今まさに、国立大学の独立行政法人化が目の前に迫っております。この動きは、教育・研究面で地域のみならず日本の発展に寄与する自律した国立大学としての自助努力が問われるとともに大学同窓会の支援のあり方も評価される事となります。大きな環境の変化の中で各大学も同窓会の組織強化に努力をしてくれています。前述のように広島大学同窓会は他大学に先駆けて連合会を結成し、同窓会を一本化する動きを始めました。しかし、現在の同窓会の姿は本当の意味での一本化したものではありません。今後、地域の行政・企業、様々な人々のご理解ご協力を得ながらも同窓会と大学との今まで以上に連携を密にして、同窓生の「愛学心」を育て、13の独立した同窓会を再編し、一本化した本当の意味での「広島大学同窓会」を目指していかねばなりません。第3回となります今回の「広島大学同窓会大会」がその動きを一気に加速させるものと期待しております。